

(1) 附属図書館

① 附属図書館

ア 設置の趣旨（目的）及び組織

附属図書館は、教育及び研究活動に資するため、図書・雑誌・その他の資料を一元的に収集・整理・保存し、本学の学生及び職員の利用に供するとともに、学生の主体的・能動的な学びのための環境の整備と学修支援の実施を目的として設置されている。その管理運営は附属図書館長が行い、事務は学術情報課学術情報チーム（情報管理担当、情報サービス担当）が担当している。

イ 運営・活動の状況

平成28年度に実施した主な事項（企画）は以下のとおりである。なお、平成28年度の入館者総数は10,725人、開館日数は351日であった。

i) 基本学術研究図書・学習用図書の収集・保存

全学の教員に対して推薦依頼を行い、それに基づき基本学術研究図書、学習用図書を収集した。また、シラバス掲載図書の網羅的収集の継続とともに、チーム内でも学習用図書、参考図書、寄贈資料、学生リクエスト図書等の選定を行った。中学校教科書の改訂年であったため、全ての中学校教科書と上越地域採用教科書準拠の教師用指導書を購入した。これらの収集と雑誌製本により平成28年度は4,440冊を受け入れた。

ii) ガイダンス等の学修支援の実施

新入生向け館内案内ツアー、電子ジャーナルやデータベースの講習会のほか、年間を通して教員の希望による個別のガイダンスを実施した。また、関東甲信越地区国立大学図書館協会研修会と兼ねて「子どもへの読み聞かせに関する研修会：読み聞かせにチャレンジ」を開催した。

iii) 図書館利用を促進する取組

学生の参加による選書ツアーを実施し54冊の図書を購入した。女性教育会館蔵書等の展示・貸出ほか、定期的にテーマ別展示を行った。年間を通して、教員執筆による「『書物』のリレー・エッセイ」、 「図書館ニュース」の発行及びSNS等による情報発信に努めた。

iv) 学修環境の改善充実

- ・ 情報交流ゾーンを拡充し、什器、ホワイトボード、プロジェクター、ホワイトボード兼用スクリーン及び電子黒板を追加整備した。タッチテーブルディスプレイを新規に整備した。
- ・ リフレッシュゾーンに大型の円形テーブルを整備し、カーペットを張り替えた。
- ・ フリースペースとしている1階ライブラリーホールにカウンター席と壁面がホワイトボードのユニットを設置した。また片面ホワイトボードの回転黒板を増設し、什器の一部を一人掛けの可動式机に交換した。
- ・ 2階に窓席を増設し、カウンター前にはソファとテーブルを整備した。

v) 新潟県立看護大学図書館との相互協力

例年同様、文献複写料金と貸出条件を学内者扱いとするとともに、6月、11月に蔵書交換会を実施し、相互に蔵書の展示・貸出を行った。

ウ 優れた点及び今後の検討課題等

i) 図書館資料購入費

資料購入費が逼迫する中で、引き続き教育・研究に必要な資料購入予算の安定的な確保に努める必要がある。

ii) 学修支援・図書館サービスの充実

- ・整備を行った2階情報交流ゾーンにおいて平成28年度は3コマの授業が実施された。
- ・図書館の活性化と学修支援のために4月から「月曜〇〇講座」と題したミニセミナーを開始した。1回30分～90分で授業期間の月曜日にほぼ毎週実施し合計30回開催した。なお講師の半分は、教員に依頼している。
- ・教科書の調べ方及び統計情報の調べ方のガイドを新規に作成した。また、長岡技術科学大学附属図書館との蔵書交換会を正式に実施した。
- ・大学院学生協議会の要望を受け、新潟県教員採用試験前の土日3日間の開館時間を2時間延長した。

iii) 地域社会への貢献

学外者の平成28年度利用登録者総数は574人で、2,692冊が貸し出された。

iv) 資料の配置, 保存, 収納

当館の資料収容力は約30万冊であり、既に収容能力を超えている。資料の横積みが見られる書架状況を改良するために事務用書架を整理し資料約7,000冊を事務室に移動した。なお、引き続き重複資料等の処分を継続するとともに、附属図書館改修に合わせて資料の保存スペースを確保する必要がある。

v) 施設・設備の整備

補正予算によりアクティブ・ラーニングを取り入れた授業環境及び学生が自ら学ぶ環境を充実させた。

② 運営委員会

ア 設置の趣旨（目的）及び組織

i) 組織設置の趣旨（目的）

附属図書館運営委員会は、附属図書館の運営に関する事項を審議するために置かれている。

ii) 組織の構成及び構成員等

附属図書館運営委員会は、附属図書館長、各専攻長、学術情報課長及び平成28年度は、学長指名1人を加え計6人により構成され、附属図書館長が委員長となる。

イ 運営・活動の状況

i) 委員会等の開催状況

平成28年度は、平成28年5月23日（月）、9月30日（金）、11月1日（火）～11月7日（月）（書面審議）、12月6日（火）～12月9日（金）（書面審議）及び平成29年3月9日（木）の5回開催した。

ii) 審議された主な事項

- ・平成28年度附属図書館経費
- ・平成28事業年度年度計画に関わる実施計画について
- ・2017年電子ジャーナル等・外国雑誌の購入について
- ・アクティブ・ラーニング用什器及び機器仕様書
- ・サポート窓口の試行計画

iii) 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

館内で講義や協同学修を行う際に必要となる基本的な什器やICT機器等の追加整備の検討に取り組み、年度計画の達成に努めた。